

各位

株式会社富山第一銀行

社会福祉法人富山城南会との  
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、社会福祉法人富山城南会（理事長 高原 啓生）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

## 記

## 1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

## 2. 融資概要



契約締結日	2023年9月14日
借入人	社会福祉法人富山城南会
融資金額	3億円
資金使途	施設設備改修資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 3. 評価企業概要 社会福祉法人富山城南会

代表者	理事長 高原 啓生
本社所在地	富山県富山市太郎丸西町一丁目5番地12
事業内容	高齢者福祉、児童福祉
設立年月日	1984年10月31日

## 4. SDGs達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	事業活動を通じた地域社会への貢献
インパクトの種類	社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「住居」「健康・衛生」「人格と人の安全保障」
関連SDGs	 
対応方針	職員のスキル向上による介護・保育サービスの質向上
毎年モニタリングする目標とKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や勉強会の開催・参加 12回/年（前年度実績10回）</li> <li>・職員の介護福祉士試験合格率 80%（過去5回の全国平均合格率74.2%）</li> </ul>



社会福祉法人富山城南会 理事長 高原 啓生氏  
 株式会社富山第一銀行 富山南センター・根塚町支店長 本島 寿徳

### 【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：松森

TEL 076-461-3871

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：社会福祉法人 富山城南会



2023年9月14日

株式会社 富山第一銀行

# 目次

1.	はじめに. . . . .	2
2.	会社概要. . . . .	3
	(1) 企業概要	
	(2) 経営理念・基本方針	
	(3) 沿革	
	(4) 組織図	
3.	事業内容. . . . .	7
	(1) 業界動向	
	(2) 施設の役割及び特徴	
4.	SDGs・ESG活動. . . . .	13
	(1) 地域貢献活動	
	(2) 職場環境	
5.	インパクトの特定. . . . .	16
	(1) インパクトレーダーによるマッピング	
	(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール	
	(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
	(4) 富山市のSDGs未来都市計画の確認	
	(5) インパクトの特定	
	(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
6.	KPIの設定. . . . .	24
	(1) 事業活動を通じた地域社会への貢献	
	(2) 従業員が働きがいをもって働ける機会・環境の提供	
	(3) 環境対策	
7.	管理体制とモニタリング. . . . .	25
	(1) インパクトの管理体制	
	(2) モニタリング方法	

# 1. はじめに

株式会社富山第一銀行は、社会福祉法人富山城南会に対してファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、ファーストP I F）を実施するにあたって、同社の事業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、株式会社格付投資情報センターの協力を得て、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、社会福祉法人富山城南会の事業活動における包括的なインパクトを分析した。

株式会社富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組を支援するため、社会福祉法人富山城南会に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	社会福祉法人 富山城南会
所在地	富山県富山市太郎丸西町一丁目5番地12
従業員数	647人（2023年4月現在）
事業内容	高齢者福祉、児童福祉
調達金額	300,000,000円
調達形態	証書貸付金
資金使途	施設設備改修資金
契約期間（モニタリング期間）	2023年9月14日から5年間

## 2. 会社概要

### (1) 企業概要



社名	社会福祉法人 富山城南会
代表者	理事長 高原啓生
本社	〒939-8271 富山県富山市太郎丸西町一丁目5番地12
設立年月日	昭和59年10月31日
事業内容	高齢者福祉、児童福祉
売上高	38億4,560万円
従業員	647人 (2023年4月現在)
事業所	<高齢者福祉施設> 特別養護老人ホーム 敬寿苑 特別養護老人ホーム ふるさと敬寿苑 介護老人保健施設 シルバーケア羽根苑 老人福祉施設 しみずまち敬寿苑 総合福祉センター にながわ敬寿苑 軽費老人ホーム ケアハウス婦中苑 軽費老人ホーム ケアハウス城南 <児童福祉施設> 幼保連携型認定こども園 城南もなみ学園 幼保連携型認定こども園 光陽もなみ保育園 幼保連携型認定こども園 婦中もなみ保育園 放課後児童クラブ もなみ子どもクラブ 放課後児童クラブ 婦中もなみ子どもクラブ

## 2. 会社概要

### (2) 経営理念・基本方針

富山城南会は経営理念と基本方針を下記の通り掲げている。

#### <経営理念>

**わたくしたちは、『地域に根ざしたあたたかい福祉の実現』を目指します**

わたくしたちは各々の施設、事業が存立する地域を大切にし、その地域を基盤としながら安定して継続的に福祉サービスをご提供することに努めます

#### <基本方針>

**わたくしたちは、地域の皆様に信頼され愛される施設作りに努めます**

わたくしたちは地域の皆様に開かれた、そして親しみを持ってご相談、ご利用をいただける福祉施設作りを目指します

**わたくしたちは、常に地域の皆様にとって最良の福祉サービスとは何かを考え実践します**

わたくしたちは福祉サービスのプロとして、常に自己研鑽を怠らず、技量の向上に励み、ご利用者様の立場に立った最良の福祉サービスのご提供に努めます

## 2. 会社概要

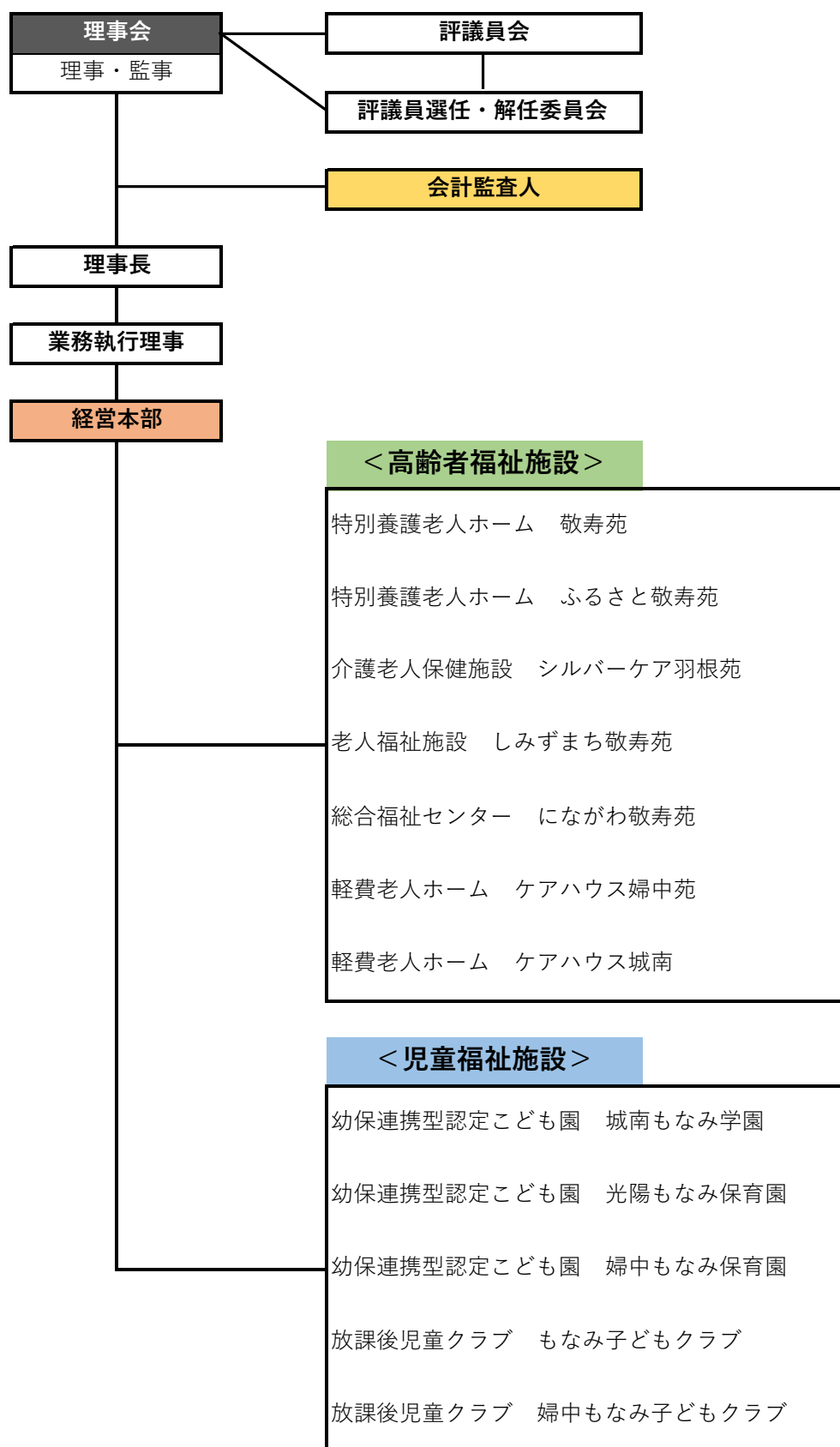
### (3) 沿革

年月	概要
1984年10月	社会福祉法人富山城南会設立
1985年7月	特別養護老人ホーム敬寿苑開設
2001年11月	富山県富山市婦中町にて温泉掘削
2002年7月	特別養護老人ホームふるさと敬寿苑開設
	介護老人保健施設シルバーケア羽根苑開設
	軽費老人ホームケアハウス婦中苑開設
2003年4月	軽費老人ホームケアハウス城南開設
2005年1月	老人福祉施設しみずまち敬寿苑開設
2005年6月	婦中もなみ保育園開設
2006年4月	光陽もなみ保育園開設（旧・富山市根塚保育所を移管）
	富山市南老人福祉センター南寿荘の管理受託 ※2011年3月受託終了
2006年11月	放課後児童クラブもなみ子どもクラブ開設
2010年3月	総合福祉センターにながわ敬寿苑開設
2010年10月	認定こども園城南もなみ学園編入
2011年4月	総合福祉センターにながわ敬寿苑 秋乃家（第2期工事）開設
2012年4月	認定こども園城南もなみ学園 保育所認可
	放課後児童クラブ婦中もなみ子どもクラブ開設
2013年7月	老人福祉施設しみずまち敬寿苑改築オープン
2015年4月	幼保連携型認定こども園城南もなみ学園認可
2017年4月	幼保連携型認定こども園婦中もなみ保育園認可
	特定社会福祉法人（収益30億円以上）に指定
2018年4月	幼保連携型認定こども園光陽もなみ保育園認可
2022年4月	光陽もなみ保育園乳児棟増築オープン



## 2. 会社概要

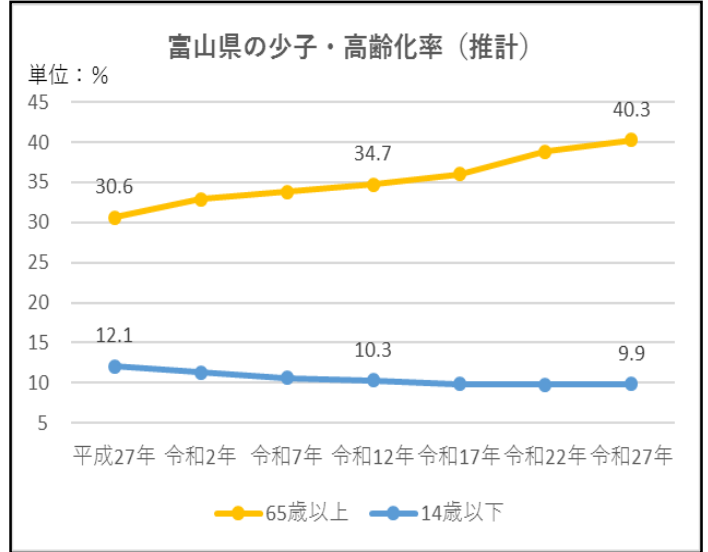
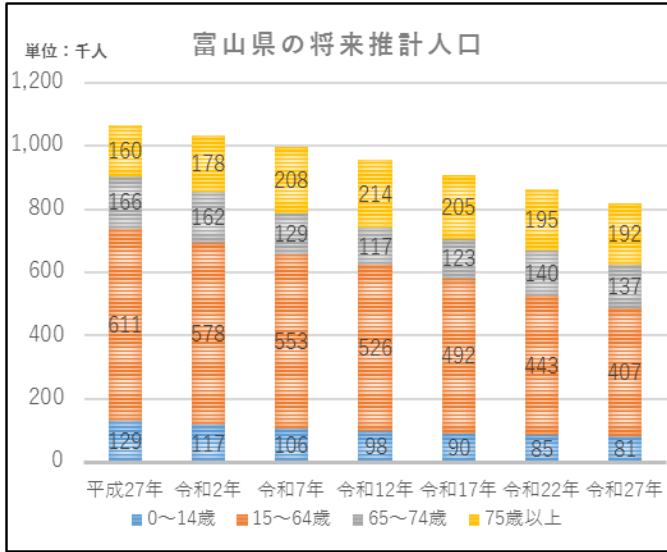
### (4) 組織図



### 3. 事業内容

#### (1) 業界動向

##### ① 将来人口、少子・高齢化率



富山県の人口は、平成30年3月に国立社会保障・人口問題研究所より公表された推計によると、今後も減少傾向が続き、令和7年には996千人まで減少。平成27年との比較では、9.72%減少することが見込まれている。また、令和27年までには817千人まで減少し、平成27年との比較では、23.3%減少することが見込まれている。

富山県の推計少子・高齢化率を見ると、14歳以下割合は12.1%から9.9%まで低下、65歳以上割合は、30.6%から40.3%まで増加しており、全国の65歳以上割合の36.8%と比較しても富山県は高い水準であり、高齢化が進んでいる地域である。

< 二次医療圏別の人口総数と75歳以上人口の推計 >

単位：千人

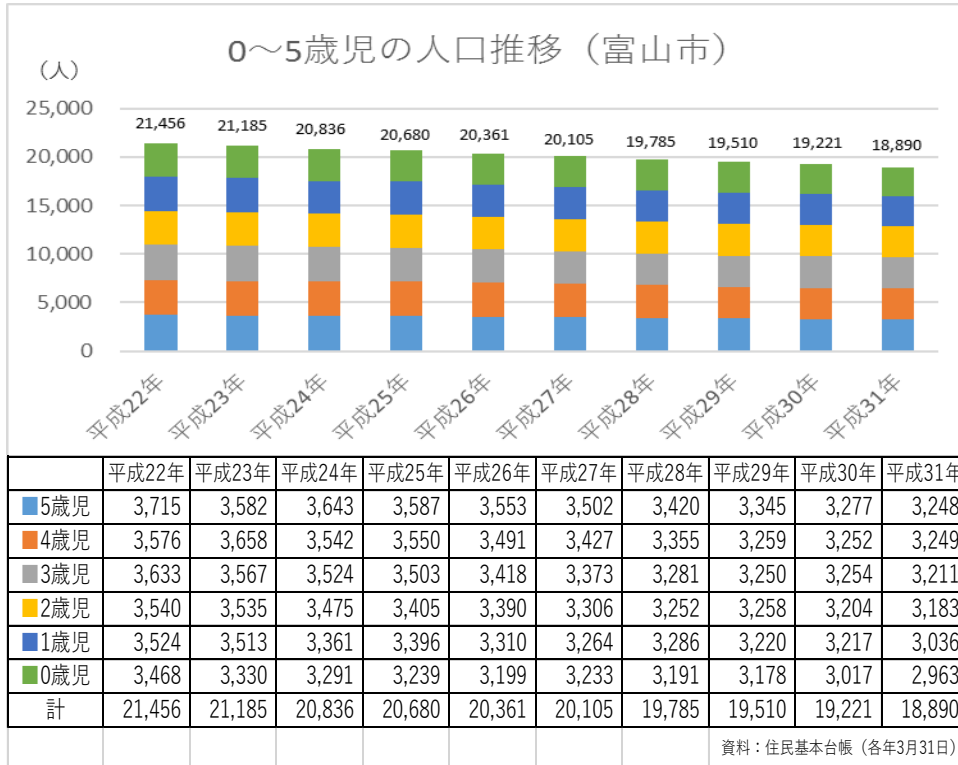
区分	人口総数				75歳以上人口			
	令和2年	令和7年	令和17年	令和27年	令和2年	令和7年	令和17年	令和27年
県全体 (対R2年指数)	1,035 100.0%	996 96.2%	910 87.9%	817 78.9%	178 100.0%	208 116.9%	205 115.2%	192 107.9%
新川 (対R2年指数)	115 100.0%	108 93.9%	95 82.6%	81 70.4%	22 100.0%	25 113.6%	24 109.1%	22 100.0%
富山 (対R2年指数)	493 100.0%	480 97.4%	449 91.1%	414 84.0%	79 100.0%	93 117.7%	92 116.5%	90 113.9%
高岡 (対R2年指数)	302 100.0%	289 95.7%	260 86.1%	230 76.2%	53 100.0%	63 118.9%	62 117.0%	56 105.7%
砺波 (対R2年指数)	125 100.0%	119 95.2%	106 84.8%	92 73.6%	24 100.0%	27 112.5%	27 112.5%	25 104.2%

富山城南会が位置する富山診療圏は、富山県の二次医療圏における区分の中で最も人口が多い地域であり、75歳以上人口も比例して最も多くなっている。

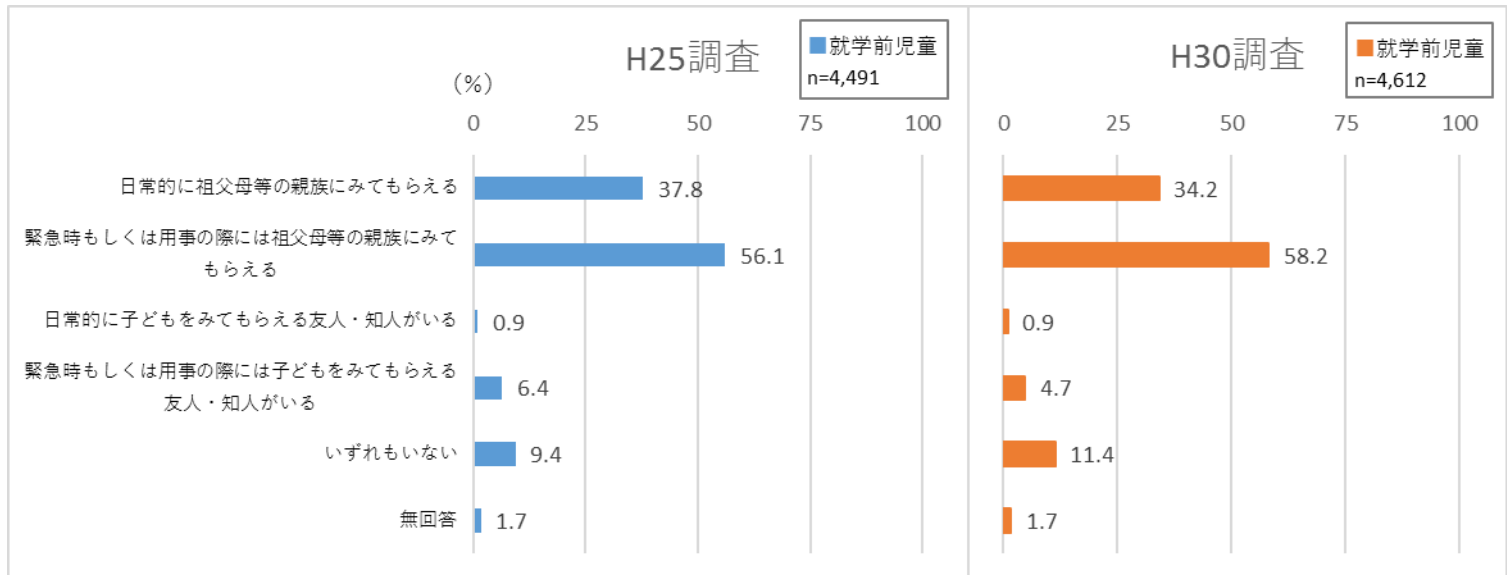
また、令和2年比較においても、75歳以上人口の増加が最も進む地域となっており、この超高齢化が進む地域内において、安定した医療の提供と介護、介護予防、自立した日常生活の支援を包括的に確保される地域ケアシステムの確保が必要となっている。

### 3. 事業内容

児童福祉において富山城南会が拠点を設ける富山市における0～5歳児の人口推移は富山県の少子化傾向と同様、平成22年から平成31年にかけて各年齢階級いずれも減少し、全体では2,566人（12.0%減）減少している。また、一般世帯数が8.4%増加している一方で子どものいる世帯が減少していることから、核家族化の進展がうかがえること、子育てに関する協力者の状況をみると、教育・保育、相談支援や養育支援面の整備が重要になっていることが分かる。



■子育てに関する親族・知人等協力者（経年比較）



資料：富山市による子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査より

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.2%となっているが、前回調査と比較すると3.6ポイント低下、「いずれもない」が2.0ポイント増加しており、認定こども園をはじめとした保育ニーズの高まりがうかがえる。

### 3. 事業内容

#### ②富山県地域医療構想

人口減少や高齢化が進展する中、2025年にはいわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となる超高齢社会を迎え、富山県においては3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となると見込まれ、多様化する高齢者ニーズへの対応が急務となっている。

こうした中、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進することを目的に、2014年に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立した。これに伴い医療法も改正され、富山県は将来の医療提供体制のあるべき姿を示した「富山地域医療構想」を策定した。これは地域の実情や患者のニーズに応じた医療需要を見据えて、医療資源の効果的かつ効率的な配置を促し、高度急性期から在宅医療、介護に至るまでの、一連のサービスが切れ目なく提供される体制を確保することを目的としており、構想区域ごとに2025年の病床の機能区分ごとの病床数の必要量、2025年の居宅等における医療（在宅医療）の必要量を推計し、必要な医療の安定供給に向けて「病床の機能の分化及び連携」、「在宅医療の強化」、「医療従事者の確保・育成」を促進し取り組むことが定められた。

富山城南会は、富山市において介護分野のケアサービスを担っており、特別養護老人ホームや軽費老人ホーム、グループホームなどの施設住宅系サービスのほか、デイサービスや小規模多機能型などの在宅系サービスを提供している。また、高齢者の介護の相談窓口となる地域包括支援センターを運営しており、富山市の地域包括ケアシステムの構築に貢献している。



出典：富山県HP

### 3. 事業内容

#### ③自治体の方針

富山県では「とやまの未来をつくる子育て支援その他の少子化対策の推進に関する条例」（平成21年6月制定）及び本条例に基づく基本計画により、子育て支援・少子化対策を総合的・計画的に推進している。施策の推進状況や関係法令の改正を踏まえ、令和2年3月に新たな基本計画「次世代につなぐとやまっ子みらいプラン～みんなで創る子どもの笑顔があふれる未来を～」を策定した。

この計画では子育て家庭や若い世代の結婚・妊娠・子育ての希望を実現するため、「子育て家庭に対する支援の充実」・「働き方改革の推進」・「女性活躍の推進と男性の家事・育児参画の促進」・「結婚を希望する男女への支援」・「移住・UIターン等の促進」・「妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減」・「妊娠、出産、子ども・子育てに温かい社会づくり（セーフティネットの充実）」を重点施策として掲げるとともに、県民全体で推進するための目標指標を設け、各種施策の一層の推進を行っている。基本的施策の最初に「子育て家庭に対する支援」が挙げられており、施策の基本方向として、幼児教育・保育・子育て支援の充実や情報提供・専門的な相談の実施などが挙げられている。

また富山市では次代の社会を担うすべての子どもの健やかな育ちと保護者による子育てを地域や社会全体で支えていく環境の整備を目指し、子ども・子育てのための支援を総合的、一体的に推進するため、「子ども・子育て支援法」に基づき、「富山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいる。

この計画では社会的な支援の必要性が高い子どもやその家族を含めたすべての子どもに向けた質の高い教育・保育及び地域子どもの貧困対策の推進に関する法律による関連施策の計画的に実施し、富山市に住居する子どもやその家族にとって「子どもの最善の利益」が実現される様々な事業を展開している。

基本方針	基本的施策	施策の基本方向
I 家庭・地域における 子育て支援	1 子育て家庭に対する支援	(1) 幼児教育・保育・子育て支援の充実 (2) 情報提供・専門的な相談の実施 (3) ひとり親家庭などに対する支援
	2 地域における子育て支援の促進	(1) 子育てを支援する人材の育成 (2) 子育て支援活動の促進 (3) 子育て支援のネットワークづくり
	3 安心して子育てができる 生活環境の整備	(1) 子育てにやさしいまちづくり (2) 子どもの交通安全対策の推進 (3) 子どもを犯罪から守るための活動の推進 (4) 良質な住環境の確保
	4 母と子の健康づくりへの支援	(1) 安全で安心な妊娠・出産の支援 (2) 不妊治療等への理解の促進・支援の充実 (3) 周産期医療等の充実 (4) 子どもの健やかな成長のための支援 (5) 障害や疾病のある子ども(医療的ケア児を含む)への支援

出典：富山県（次世代につなぐとやまっ子プランより）

### 3. 事業内容

#### (2) 施設の役割及び特徴

富山城南会は1984年の法人設立以来、特別養護老人ホームの敬寿苑を中心として、地域の皆様から信頼され愛される福祉施設作りをモットーに、入所施設サービスから通所介護、訪問介護、短期入所等の在宅サービスまで幅広い高齢者福祉を展開している。

2005年には地域の総合福祉ゾーンの一角に複合的な福祉施設を建設、初めて保育園も開設して以来、認定こども園や放課後児童健全育成事業などにも注力している。

今後も地域における福祉の担い手の中心的な役割を果たし、社会福祉法人としての使命を全うしていく方針。

<富山城南会が運営する施設と提供サービス>

		敬寿苑	ふるさと敬寿苑	シルバーケア羽根苑	しみずまち敬寿苑	にながわ敬寿苑	ケアハウス婦中苑	ケアハウス城南	城南もなみ学園	光陽もなみ保育園	婦中もなみ保育園	もなみ子どもクラブ	婦中もなみ子どもクラブ	
高齢者福祉	施設	介護老人福祉施設	○	○		○								
		介護老人保健施設			○									
		軽費老人ホーム						○	○					
	居宅	短期入所	○	○	○	○	○							
		通所介護・通所リハビリ	○	○	○	○	○							
		訪問介護・訪問リハビリ	○	○	○	○								
		訪問看護				○								
		居宅介護支援	○	○		○	○							
		地域包括支援センター	○	○		○								
	地域密着	グループホーム					○							
小規模多機能型居宅介護						○								
児童福祉	幼保連携型認定こども園								○	○	○			
	放課後児童クラブ											○	○	



## 3. 事業内容

### (2) 施設の役割及び特徴

#### <介護老人福祉施設>

主に要介護3～5の認定者に向けて身体介護を中心とした自立支援を提供。終身利用できる介護施設。

#### <介護老人保健施設>

要介護1～5の認定者に向けて医療的ケアやリハビリを提供。在宅復帰を目指す施設で、入居期間は原則3ヶ月となる。

#### <軽費老人ホーム>

60歳以上で身寄りがなく、あるいは家族からの援助が困難で、自立した生活が不安な人が入居できる。

#### <短期入所（ショートステイ）>

特別養護老人ホームなどの施設に短期間入所して、食事や入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練などを行うサービス。

#### <通所介護>

日中、老人デイサービスセンターなどに自宅から通所してきた利用者に対して、食事や入浴、排せつ等の介護その他の必要な日常生活上の世話や、機能訓練などを日帰りで提供するサービス。

#### <訪問介護>

訪問介護員が利用者の自宅を訪問して、入浴や排せつ、食事等の介護や、調理、洗濯、掃除等の家事などを行うサービス。サービスは大きく「身体介護」「生活援助」「通院等乗降介助」に分かれる。

#### <訪問看護>

医師の指示に基づき、看護師等が利用者の居宅を訪問し、健康チェックや医療処置、医療機器の管理などを行うサービス。

#### <居宅介護支援>

自宅で介護を必要とする方が自立した生活を営むために、ニーズに応じたサービスを適切に利用できるよう、ケアマネージャーが利用者の心身の状況や生活環境、利用者・家族の希望等に沿って、ケアプランを作成する。ケアプランに位置づけたサービスを手配するとともに、サービスを提供する事業所等との連絡・調整も行う。

#### <地域包括支援センター>

介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」となる。専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じており、介護保険の申請窓口も担っている。

#### <グループホーム>

認知症の利用者が共同で生活する住居において、認知症対応型共同生活介護計画に基づいて、介護職員等が食事や入浴、排せつ等の介護その他の日常生活上の世話などを行う。少人数（5～9人）の家庭的な雰囲気の中で症状の進行を遅らせて、できる限り自立した生活が送れるよう支援する。

#### <小規模多機能型居宅介護>

利用者のニーズや希望などに応じ、通いや訪問、宿泊のサービスを柔軟に組み合わせて、食事や入浴、排せつ等の介護その他の日常生活上の世話や、機能訓練などを行う。訪問介護・通所介護・短期入所と同様のサービスを一体的に提供することが特徴。

## 4. SDGs・ESG活動

### (1) 地域貢献活動

富山城南会は経営理念のもと、地域福祉の中心的な担い手として、本来の福祉事業にとどまらず、福祉に関わる様々な地域貢献活動（公益的な取組）を実践している。

<地域の高齢者を招いてカフェを開催>



<地域の河川に清流を呼び戻すための鮎の放流事業をお手伝い>



<子育て支援センターと連携した離乳食についての講習会>



<地域の健康教室への職員派遣>



**フードドライブ**

富山県リレーフードドライブ  
キャンペーンに参画中!!

**ペットボトルキャップ回収**

**地域の高齢者を招いての  
カフェを開催**

**専門職による  
出張体操教室**

子育て支援センター  
と連携しての講習会  
を開催

**地域の河川に清流を呼び戻す  
ための鮎の放流事業をお手伝い**





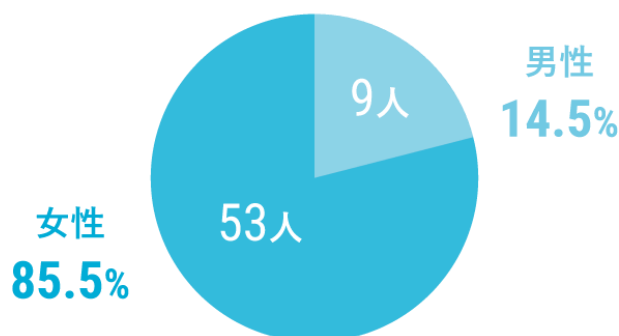
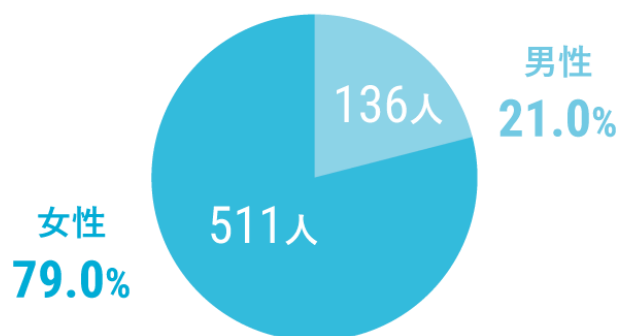
## 4. SDGs・ESG活動

### (2) 職場環境

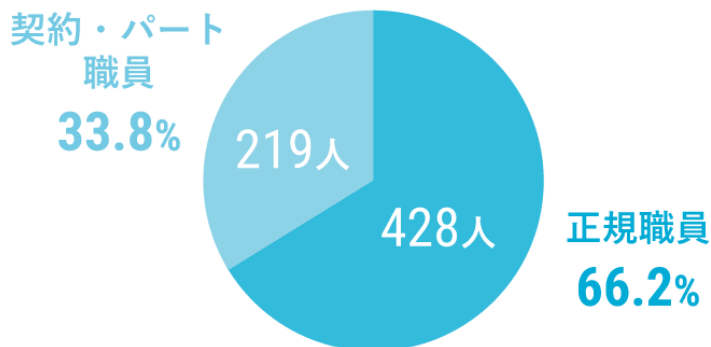
富山城南会では20代から70代の幅広い年齢層の職員が勤務している。60歳の定年退職後、希望する職員は満65歳まで契約職員として勤務継続することが可能。仕事が楽しく生きがいになるような環境整備に努めている。(下記データは2023年4月1日現在)

職員数 **647人**

管理職級 **62人**



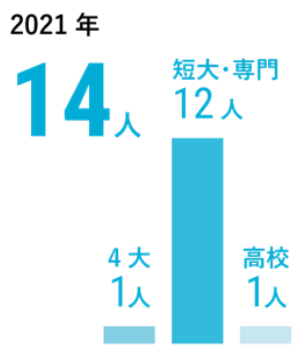
職員比率



平均年齢  
(正規職員) **40.9**歳

平均勤続年数  
(正規職員) **8年9**か月

<採用実績>



## 4. SDGs・ESG活動

### (2) 職場環境

育児休業後の時短勤務など女性職員が出産や育児を経ても就業継続できる環境整備に力を入れている。

(2022年度実績)

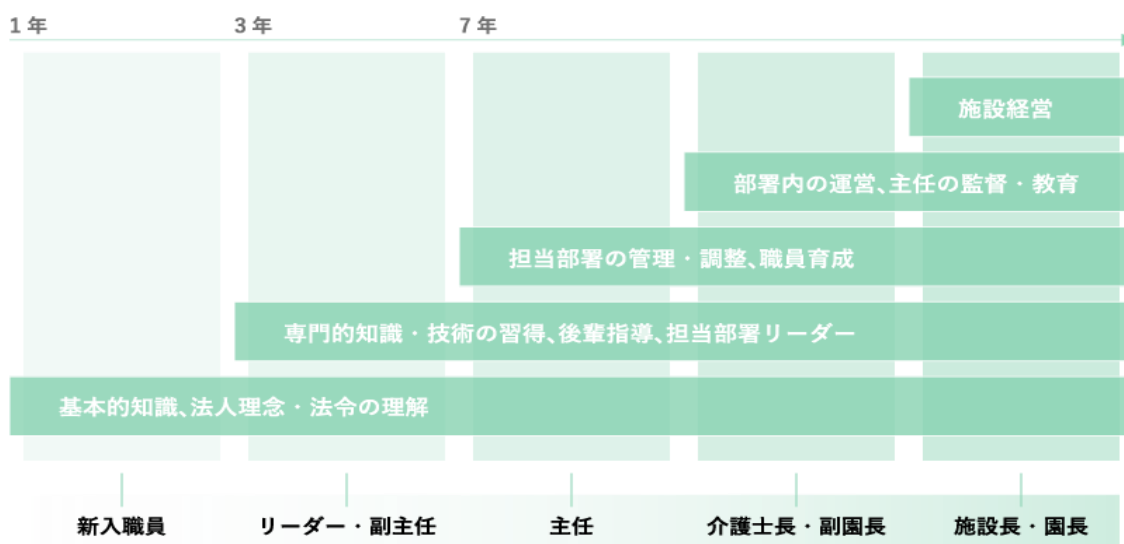
産休育休取得者	育児休業取得率	時短勤務取得者	年間有給取得日数	1ヶ月平均時間外労働時間
30人 (うち男性2人)	100%	14人	平均11.0日	63分

<男性の育休取得の様子>



経験豊富な先輩職員がしっかりと丁寧に指導し、内部研修やオンライン研修、資格取得制度なども充実しており働きながらスキルアップできる仕組みを構築している。

<キャリアパスイメージ>



## 5. インパクトの特定

### (1) インパクトレーダーによるマッピング

当社の事業内容の分析結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

同社の主要な業種については、国際産業標準分類に則り、高齢者福祉部門においては「居住介護施設（8710）」「高齢者・障害者用居住ケアサービス（8730）」「宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業（8810）」を適用した。児童福祉部門においては「宿泊施設のないその他の社会事業（8890）」を適用した。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

#### ■高齢者福祉部門

国際産業標準分類		高齢者福祉部門					
		【8710】		【8730】		【8810】	
		居住介護施設		高齢者・障害者用居住ケアサービス		宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業	
インパクトカテゴリー	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	水(入手)						
	食糧						
	住居	◆		◆			
	健康・衛生	◆	◆	◆	◆	◆	
	教育						
	雇用	◆◆	◆	◆◆	◆	◆◆	◆
	エネルギー						
	移動手段						
	情報						
	文化・伝統						
	人格と人の安全保障	◆	◆	◆	◆	◆	
	正義・公正						
	強固な精度・平和・安定						
	環境	水(質)					
大気							
土壌							
生物多様性と生態系サービス							
資源効率・安全性							
気候							
経済	廃棄物		◆		◆		◆
	包括的で健全な経済						
	経済収束						

## 5. インパクトの特定

インパクトマッピングにおいて、当社事業に重要な影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「雇用」が挙げられた。影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「住居」「健康・衛生」「人格と人の安全保障」、ネガティブで「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」「廃棄物」が挙げられた。

富山城南会は特定社会福祉法人として入所施設から通所や訪問、短期入所など多岐にわたる高齢者福祉サービスを展開し、利用者の豊かな暮らしを守り、生活の質を向上させることに寄与している。12の施設を運営し、職員は約650人と富山県内最大級の規模となる。特に高齢者福祉サービスにおいては入所系サービスから在宅系サービス、介護に関する相談など高齢者福祉における利用者のニーズに応じて包括的に対応できる点が強み。また、質の高いサービス提供と職員一人ひとりの働きがい向上を目的に法人全体としてのキャリアパス制度を設けている。無資格で入社した人でも所定の研修を受けることで資格の取得や職位の上昇につながる。リーダーや主任クラスにおいても法人内外の研修や講習会などを通して、より高い昇級が可能となる。充実した職員の育成体制が質の高いサービス提供につながっている。以上の点から「住居」「健康・衛生」「人格と人の安全保障」についてのポジティブインパクト拡大に貢献していると考えられる。

職場環境に関する取組にも注力しており、働きやすい職場環境となるよう育児休業後の時短勤務や有給取得の推進などを行っている。20代から70代の幅広い年齢層の職員が働いており、職員に占める女性の比率が79%と高い。外国人の人材採用にも積極的であり、現在受け入れ態勢を整備中。今後、本格的に採用を進めていく方針。また、資格取得制度や内部研修、オンライン研修も充実しており、働きながらスキルアップできる職場となっている。このような職場環境は「雇用」についてのポジティブインパクト拡大に貢献していると考えられる。

一方、利用者への対応の仕方によっては「健康・衛生」「人格と人の安全保障」においてネガティブなインパクトを発生させる懸念があるが、人材育成への注力や相互牽制体制により発生を防止する。一般的に介護業界の待遇面や職場環境は厳しいものと言われており、「雇用」におけるネガティブインパクトとなりうるが、上記の通り職場環境の整備によりネガティブインパクト防止に努めている。

## 5. インパクトの特定

「廃棄物」におけるネガティブインパクトについては施設で使用する紙おむつをより高性能のものに変更することで、紙おむつの使用量を減らし（交換頻度減）、施設から出る廃棄物を抑制することに努めている。性能・品質の良い紙おむつを使用することで快適性を維持しつつ、従来よりも長時間の使用が可能となり、使用量の削減につながる。主要施設の1つである「敬寿苑」において、2016年度に110,302kgであった使用済みオムツの排出量が2022年度では87,185kgと20%以上の削減実績となった。他の施設においてもおむつの変更を順次実施しており、今後は敬寿苑だけでなく、法人全体としての廃棄物総量の削減に努めていく方針。また、施設の食事を高齢者にも食べやすいものにする事で残菜を少なくする、法人としてフードドライブを開催する、関連グループのセントラルキッチンの利用にて食品ロス削減するなど「食」を通じた取組も進めている。

### ■児童福祉部門

		児童福祉部門	
国際産業標準分類		【8890】	
		宿泊施設のないその他の社会事業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative
社会	水(入手)		
	食糧		
	住居		
	健康・衛生	◆	
	教育		
	雇用	◆◆	◆
	エネルギー		
	移動手段		
	情報		
	文化・伝統		
	人格と人の安全保障	◆	
	正義・公正		
	強固な精度・平和・安定		
	環境	水(質)	
大気			
土壌			
生物多様性と生態系サービス			
資源効率・安全性			
気候			
廃棄物			◆
経済	包括的で健全な経済		
	経済収束		

## 5. インパクトの特定

インパクトマッピングにおいて、当社事業に重要な影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「雇用」が挙げられた。影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「健康・衛生」「人格と人の安全保障」、ネガティブで「雇用」「廃棄物」が挙げられた。

富山城南会は3つの幼保連携型認定こども園、2つの放課後児童クラブの運営を行っている。こども園や児童クラブは子どもたちの日々の生活に密接に結びついており、子どもたちの「健康・衛生」「人格と人の安全保障」のポジティブインパクト拡大に貢献していると考えられる。同法人の特性をいかし、グループ内の老人福祉施設に慰問し世代間交流を行っていることや、保育園の畑でとれた野菜を使って自分たちで調理を行う食育に注力していることなどが特色として挙げられる。また、多様な人材が活躍できる働きやすい職場づくりや男女格差の是正にも取り組んでおり、「雇用」におけるポジティブインパクトにも寄与している。

こども園（幼稚園教諭・保育士）においても介護業界同様に待遇や職場環境が厳しいものと言われており、職員の心身への影響の懸念から「雇用」におけるネガティブインパクトとなりうるが、職場環境の整備によりネガティブインパクト防止に努めている。富山城南会では保育士の働き方改革の観点から、保育ICTシステム（コドモン）を今年度より導入。登降園管理や保護者との連絡、帳票作成、シフト作成など多岐に渡る業務をシステムにより効率化することで保育士の負担を軽減すると共に保育の「質」向上とペーパーレス化に努めている。施設からの「廃棄物」についてもネガティブインパクトとなり得るが、上記の保育ICTシステムによるペーパーレス化の推進により、「廃棄物」におけるネガティブインパクト抑制に努めている。

## 5. インパクトの特定

### (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール

同法人の売上高は全て日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同法人のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



(出典：インターネットより)

### (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール5項目のうち、1項目が大きな課題が残る項目、2項目が重要な課題が残る項目、2項目が課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が5項目全て該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。



(出典：SDGsダッシュボード)



## 5. インパクトの特定

### (4) 富山市の未来SDGs未来都市計画の確認

#### 富山市の地域特性と取り組むべき課題

富山市は、富山県の中央部に位置する人口41万人の県庁所在都市であり、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。市域は国内最大級の約1,242km<sup>2</sup>の広さを有し、水深1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から3,000m級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かな多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ、再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、本市は自然との共生を通して日本全国そして世界の都市が抱える地域課題をトータルで内包し、解決・普及するための地方都市モデルとして、大きな役割を担っている。

富山市は地域包括ケアの推進、地域共生社会の推進、メンタルヘルスの向上と質の高いライフ・ワークスタイルの構築を掲げており、子供から高齢者までが、健康で安心した生活を送ることができるよう健康づくり・介護予防の推進を図るとともに、医療・介護が必要となった場合には住み慣れた地域で可能な限り自分らしい生活が送れるよう、地域包括支援センター等との連携により、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいが一体に提供される体制作りを推進している。

特に、地域共生社会の推進では、誰一人取り残さない、地域共生社会の実現に向けて、富山市では、育児・介護・障害・貧困やそれらが複合化・複雑化した課題に包括的に対応する相談支援体制作りを推進するとともに、市民一人ひとりの暮らしと生きがいを尊重しながら地域社会をともに創造し、地域福祉を推進するさまざまな取組みを展開する。

#### 〈今後取り組むべき視点・課題〉

- ① **都市のかたち**：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり、多様な公共交通網の整備、拠点ごとの都市機能集積
- ② **市民生活**：地域包括ケアの推進、地域共生社会の推進、メンタルヘルスの向上と質の高いライフ・ワークスタイルの構築
- ③ **エネルギー**：化石燃料依存からの脱却と脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進と都市レジリエンスの向上
- ④ **産業**：イノベーション創出に向けた基盤整備、医薬品関連産業の集積、農林水産業の活性化
- ⑤ **都市・地域**：包括的なつながりの再構築、地域におけるステークホルダーの連携強化、社会情勢の変化に対応した学校教育の推進



## 5. インパクトの特定

### 富山城南会の取組みとの関連性

富山城南会は経営理念のもと、主たる事業である高齢者福祉事業と児童福祉事業において利用者の立場に立った最良の福祉サービスの提供に努めている。また、本来の福祉事業だけでなく、福祉に関わる様々な地域貢献活動も実践している。この取組みは誰一人取り残さないという地域共生社会の実現に大きく貢献しており、地域福祉の推進を掲げる行政方針と合致している。富山市のSDGsのKPIとなっている「健康であると感じる市民の割合」増加にも大きな効果が期待できる。

### 〈富山市の目指す都市創造のスパイラルアップ〉



(出典：富山市SDGs未来都市計画)

## 5. インパクトの特定

### (5) インパクトの特定

以上を踏まえ、同社のインパクトを下記のように特定した。

- **事業活動を通じた地域社会への貢献**
- **従業員が働きがいをもって働ける機会・環境の提供**
- **環境対策**

### (6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「**事業活動を通じた地域社会への貢献**」「**従業員が働きがいをもって働ける機会・環境の提供**」「**環境対策**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**事業活動を通じた地域社会への貢献**」では、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「**従業員が働きがいをもって働ける機会・環境の提供**」では、「4.健全な企業経営」の観点で、「**環境対策**」では、「3.環境保全」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取組みの支援を目指す。

## 6. KPIの設定

特定されたインパクト領域のうち、環境・社会・経済に対して、一定の影響が想定され、富山城南会の経営の持続可能性を高める項目について、以下のとおりKPIが設定された。

### (1) 事業活動を通じた地域社会への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」「健康・衛生」「人格と人の安全保障」
対応方針	職員のスキル向上による介護・保育サービスの質向上
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や勉強会の開催・参加 12回/年 (前年度実績10回)</li> <li>・職員の介護福祉士試験 合格率80% (過去5回の全国平均合格率74.2%)</li> </ul>

### (2) 従業員が働きがいをもって働ける機会・環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
対応方針	多様な人材の採用、誰もが働きやすい職場環境の整備
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年度までに外国人材を2名以上、正社員として雇用する (現状：0名)</li> <li>・育児休業取得率 100%の維持</li> </ul>

### (3) 環境対策

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「廃棄物」
対応方針	施設の廃棄物削減
KPI	主要3施設（敬寿苑、ふるさと敬寿苑、シルバーケア羽根苑）における廃棄物（オムツ使用量）を5年後に2022年度比で削減させる ※但し、施設の稼働状況により排出量が左右されるため、稼働率を勘案した取り組みとする。

## 7. 管理体制とモニタリング

### (1) インパクトの管理体制

富山城南会では、本ポジティブインパクトファイナンスに取り組むにあたり、板倉様が陣頭指揮を執り、坂入様を中心となって、組織内の業務や諸活動等を棚卸し、事業活動とインパクトレーダーやSDGsとの関連性、KPIの設定について検討を重ねた。

本ポジティブインパクトファイナンス実行後においても、最高責任者である板倉様、実行責任者である坂入様の指揮のもと、部長、課長、チームリーダーが中心となって、各部署、各チームでKPIの達成に向け、課題の抽出、対策の検討、施策の実行を行う。

最高責任者	経営本部 部長 板倉 充
管理責任者	経営本部 課長補佐 坂入 清貴
管理部署	経営本部

### (2) モニタリング方法

本ポジティブインパクトファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、富山第一銀行と富山城南会の担当者が定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は、少なくとも年1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPIを変更する必要がある場合は、富山第一銀行と富山城南会が協議の上、再設定を検討する。

## 7. 管理体制とモニタリング

### 注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が富山城南会から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

### ● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMAキラリ7F）

TEL (076) 461-3871